

Santa Journal

vol.4



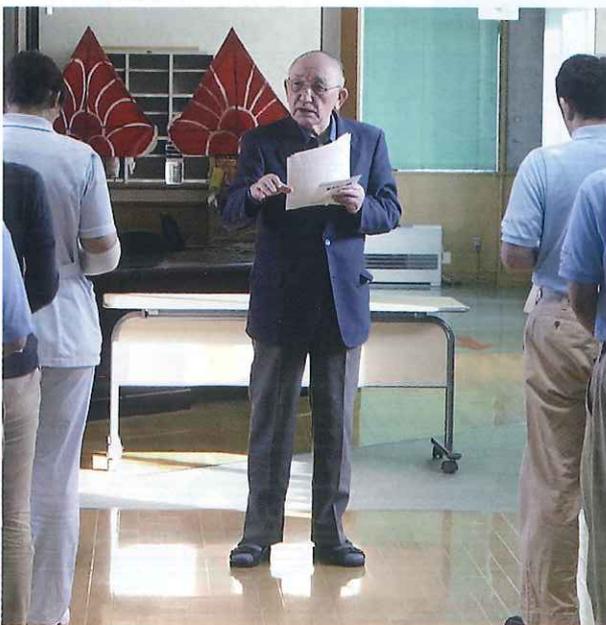
平成22年度を振り返って...

安全を追求した1年間

平成22年4月1日の辞令交付式においてなされた下山政徳理事長の訓示を受け、弘前豊徳会では平成22年度のテーマを「安全」として事業運営が進められ、秋口には介護老人保健施設サンタハウス弘前及び有料老人ホームサンタハウス迎賓館にて、職員に対し再度安全の追求について理事長より訓示がありました。

平成23年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し、陸地に津波が押し寄せる世界規模の天災が東日本各地を襲いました。当法人においても地震の影響で停電が発生し、入所されている方々の生活安全面を確保することが最優先され、自家発電機、暖房器具の設置など多くの対応に追われることとなりました。

年間を通して職員一人ひとりが安全の重要性について考え、取り組む姿勢を貫いた平成22年度。平成23年度以降も、安全強化への姿勢は変えることなく、より安全なサービス提供に努めてまいります。



職員に安全の重要性について説く下山政徳理事長

地域の雇用問題改善と福祉人材育成を目指して 緊急雇用創出事業の取り組み

青森県は国からの財源を活用し、雇用機会を創出する「緊急雇用創出事業」を実施しています。

緊急雇用創出事業は県や市町村が主体となつて臨時職員等を採用する事業の他、民間企業等に委託する事業、民間企業等から事業プランの企画を公募するものなどがありました。

平成22年度、弘前豊徳会は従来の事業運営に加え、地域における雇用問題の改善や福祉人材の育成に貢献すべく、独自のノウハウを活かした複数の雇用創出プランを企画・提案した結果、全12件の事業プランが県の審査により採択されました。また、県主体の「介護資格取得支援事業」についても受託しました。

民間提案型雇用創出事業



平成22年8月から平成23年1月にかけて段階的に採用された緊急雇用創出事業職員が集合（平成23年3月14日 7号館研修室にて撮影）

民間提案型の緊急雇用創出事業は離職を余儀なくされた者に対し、雇用機会の提供と人材育成を目的とする、青森県から委託された事業でした。※介護資格取得支援事業同様弘前豊徳会では介護資格の取得を主軸としつつ、介護施設で勤務するにあたり求められる業務の能力・知識ごとに、事務系、送迎系、清掃系、看護系等といった様々な事業プランを準備し、平成22年8月より段階的に事業を開始し、最終的には50名を越す失業者に就労と資格取得の機会を提供しました。採用された職員は、それぞれの事業プランに則つて勤務及び研修にあたりましたが、全事業共通の事項として、介護員養成研修2級課程の講座受講の他、2種類の全体研修を実施し、介護をはじめ高齢者福祉に対する見聞・理解を深めました。（詳細下段）

緊急雇用創出事業全体研修の様子

高齢者疑似体験講座

実施日 平成23年2月16、23日
会場 県民福祉プラザ（青森市）

青森県社会福祉協議会／介護実習・普及センター協力の下、視覚・聴覚・運動機能等を抑制する装具を装着し、高齢者の心身状況を疑似体験することを通して介護の理解を深める研修を実施しました。



岩手県立大学社会福祉学部准教授都築先生による講義

実施日 平成23年3月4、7、14日
会場 7号館研修室（弘前豊徳会）

岩手県立大学准教授、都築光一先生を講師にお招きし、社会福祉について、福祉の仕事について、高齢者や家族との関わり方について、講義やグループワークを実施しました。



介護資格取得支援事業

介護資格取得支援事業は各地域の介護施設が介護員養成研修2級課程（ヘルパー2級）の資格取得を目指す離職・失業者等を雇い入れ、被雇用者は働いて賃金を得ながら資格が取得できる事業であり、弘前豊徳会では

事業終了後、緊急雇用創出事業に参加した職員は、それぞれ得た技術・知識を活かし、介護分野での再就職を目指します。

介護老人保健施設サンタハウス弘前にて、平成22年4月より23年3月31日までの1年間を通じ、2名の職員を当該事業で採用しました。

4月 ～辞令交付式～

その他
 有料老人ホームサンタハウス
 弘前公園開設
 全体研修
 (AED設置に伴う取扱説明会)
 施設周辺地域春の大清掃



5月 ～観桜会～

その他
 全体研修
 (食中毒について)



6月 ～防災訓練～

その他
 全体研修
 (リスクマネジメントセミナー)



7月 ～第14回納涼祭～

その他
 職員研修
 (介護技術向上)
 郵政福祉より車椅子の寄付



8月 ～サンタハウスの通所リハビリテーション開設～

その他
 各種委員会発足
 緊急雇用創出事業開始
 サンタハウスクリニック・通所リ
 ハビリテーション事業開設
 全体研修
 (感染対策委員会主催・MRSAについて)



9月 ～敬老会～

その他
 社会福祉法人及び社会福祉施設等に対する指導監査



10月 ～全体研修～ (介護現場における緊急時対応)

その他
 全体研修
 (介護現場における緊急時対応)
 全体研修
 (認知症の定義と症状について)
 防災訓練②



11月 ～全体研修～ (経管栄養のリスクマネジメントについて)

その他
 全体研修
 (経管栄養のリスクマネジメントについて)
 全体研修
 (疥癬について)



12月 ～クリスマス会～

その他
 全体研修
 (現代作法学)
 全体研修
 (医療行為に当たらない行為について)



1月 ～新年会～

その他
 全体研修
 (藤代消防署員による、震災について)
 全体研修
 (認知症の人の心理理解)



2月 ～全体研修～ (ユニットケアについて)

その他
 全体研修
 (肝炎について)
 豆まき会 (各事業所)



3月 ～ひなまつり～

その他
 災害対策本部設立





■車種 日産 キャラバン
 ■仕様 普通車4WD後部リフト式
 ■定員 車椅子2名+8名
 助成金額：2,090,000円

財団法人日本船舶振興会（日本財団）は、障がい者・高齢者の地域生活を支援するために助成事業を行っております。

弘前豊徳会では車椅子搭載福祉車両（普通車）購入費の一部助成金を申請したところ、平成22年10月27日付けで申請許可がおり、平成23年3月19日に納車する運びとなりました。

この車両は、介護老人保健施設サンタハウス弘前通所リハビリテーションの日々の送迎で使用する事となり、利用者の皆様に役立てる予定です。

福祉車両納車

日本財団より助成

お知らせ

サンタハウスクリニックより

- ① 禁煙外来受付中
- ② 巡回車両がご利用できます

サンタハウスクリニック 通所リハビリテーションより

● 随時見学受付中

詳しくはお問い合わせ下さい

サンタハウスクリニック・サン
タハウスクリニック通所リハビ
リテーションへのお問合せ先

☎ 0172(99)1799



今回8名の方にご協力いただきました。



サンタハウスクリニック通所リハビリテーションに通う8名の方がリハビリも兼ねて2月下旬から3月2日にかけて作成し、ひなまつりにしました。（写真左：完成品）

小野馨さんは持病をもっており、左手と口を使って折り紙を折っていました。本人は「普段は痛みがあり苦痛であるのだが、折っている間は痛みを忘れることができた」とのこと。（写真右）



折り紙で
雛人形を作成
サンタハウスクリニック
通所リハビリテーション

社会福祉法人 弘前豊徳会 広報誌
Santa Journal

サンタジャーナル
 通算第4号
 2011年3月31日発行

製作

社会福祉法人 弘前豊徳会
 サンタジャーナル編集部

発行責任者

阿保英樹

〒036-8311

青森県弘前市大字大川字中桜川18番地10

TEL 0172-99-1255 FAX 0172-99-1256

URL <http://aomori.cool.ne.jp/houtokukai/>

Eメール santa-h@chive.ocn.ne.jp